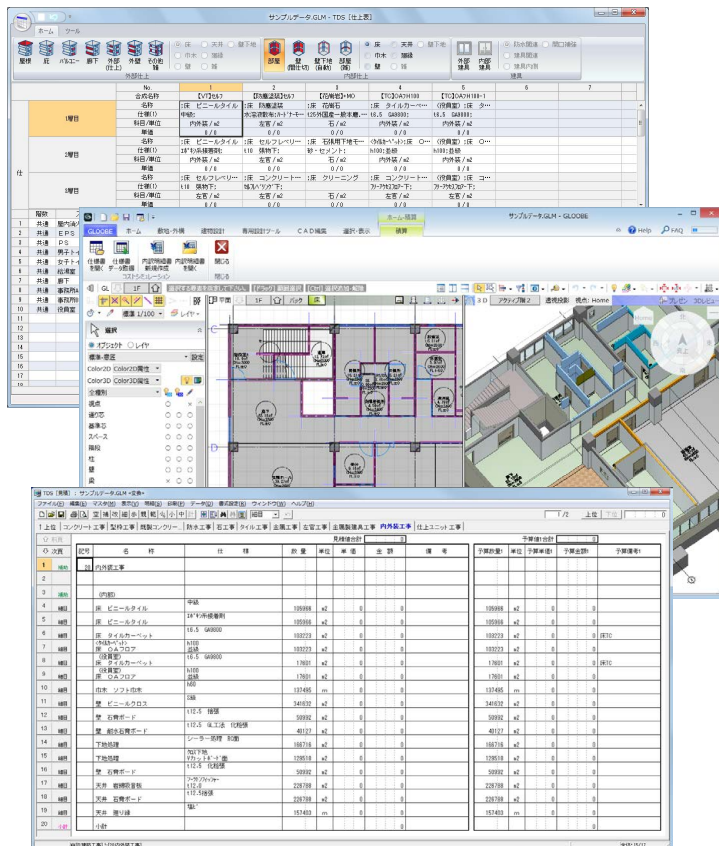


連携資料

コストシミュレーション



1 概要 _____ 2

1-1 連携の概要 _____ 2

1-2 コストシミュレーションの流れ _____ 3

2 仕様書の作成 _____ 4

2-1 仕様書を開く _____ 4

2-2 仕様書の基本操作 _____ 6

2-3 スペース（部屋）の情報作成 _____ 7

2-4 内部間仕切壁・外部壁の情報作成 _____ 12

2-5 壁下地の情報作成 _____ 14

2-6 建具の情報作成 _____ 15

2-7 外部仕上の情報作成 _____ 17

2-8 雑物の情報作成 _____ 19

3 内訳明細書の作成 _____ 20

3-1 内訳明細書の新規作成 _____ 20

3-2 数量データの連携について _____ 21

1

概要

TOMO データサービス株式会社の積算システムと相互連携しながら、仕上（間仕切壁、仕上、建具、雑物）の概算積算を行い、内訳明細書を作成できます。

ここでは、連携の概要や操作の流れを確認しておきましょう。

1-1

連携の概要

GLOOBE の数量情報と積算システムの材料情報・単価情報を関連付けて、精度の高い見積書を簡単に素早く作成できます。また、積算システムの部材情報を使用して GLOOBE のオブジェクトを入力したり、GLOOBE の入力済みオブジェクトから積算システムの情報を更新するなど、相互連携が可能です。

なお、躯体積算には対応しておりません。仕上（間仕切壁、仕上、建具、雑物）の積算を行います。

仕様書（仕上表）

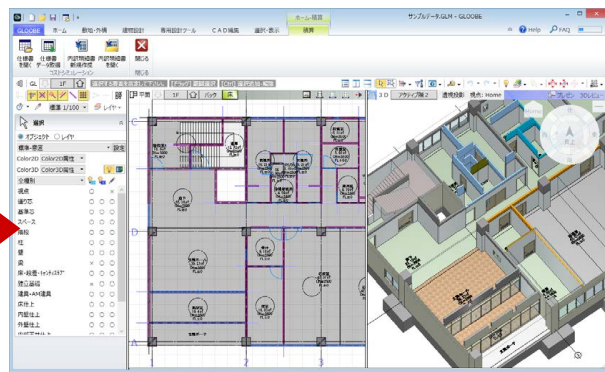
TOMO データサービス株式会社

項目	仕上	材料	数量	単位	単価	金額
1. 外装	屋根	スレート	1,000	㎡	1,000	1,000,000
2. 外装	外壁	タイル	2,000	㎡	2,000	2,000,000
3. 外装	窓	ガラス	1,000	㎡	1,000	1,000,000
4. 外装	ドア	木製	1,000	㎡	1,000	1,000,000
5. 外装	バルコニー	タイル	1,000	㎡	1,000	1,000,000
6. 外装	フェンス	鉄製	1,000	㎡	1,000	1,000,000
7. 外装	照明	LED	1,000	個	1,000	1,000,000
8. 外装	空調	エアコン	1,000	台	1,000	1,000,000
9. 外装	換気	換気扇	1,000	台	1,000	1,000,000
10. 外装	防音	防音材	1,000	㎡	1,000	1,000,000
11. 内装	床	フローリング	1,000	㎡	1,000	1,000,000
12. 内装	壁	石膏ボード	1,000	㎡	1,000	1,000,000
13. 内装	天井	石膏ボード	1,000	㎡	1,000	1,000,000
14. 内装	照明	LED	1,000	個	1,000	1,000,000
15. 内装	空調	エアコン	1,000	台	1,000	1,000,000
16. 内装	換気	換気扇	1,000	台	1,000	1,000,000
17. 内装	防音	防音材	1,000	㎡	1,000	1,000,000
18. 内装	防虫	防虫剤	1,000	㎡	1,000	1,000,000
19. 内装	防湿	防湿材	1,000	㎡	1,000	1,000,000
20. 内装	防臭	防臭材	1,000	㎡	1,000	1,000,000

外部仕上（屋根、外壁、雑物など）、内部仕上（部屋、間仕切壁、雑物など）、建具（内部、外部）のカテゴリ別に、材料情報と単価情報を設定します。

GLOOBE

福井コンピュータアーキテクト株式会社



スペース、間仕切壁、建具、仕上などのオブジェクトを入力して、建物モデルを作成します。入力したオブジェクトは数量を集計できます。

内訳明細書（見積書）

TOMO データサービス株式会社

項目	仕上	材料	数量	単位	単価	金額
1. 外装	屋根	スレート	1,000	㎡	1,000	1,000,000
2. 外装	外壁	タイル	2,000	㎡	2,000	2,000,000
3. 外装	窓	ガラス	1,000	㎡	1,000	1,000,000
4. 外装	ドア	木製	1,000	㎡	1,000	1,000,000
5. 外装	バルコニー	タイル	1,000	㎡	1,000	1,000,000
6. 外装	フェンス	鉄製	1,000	㎡	1,000	1,000,000
7. 外装	照明	LED	1,000	個	1,000	1,000,000
8. 外装	空調	エアコン	1,000	台	1,000	1,000,000
9. 外装	換気	換気扇	1,000	台	1,000	1,000,000
10. 外装	防音	防音材	1,000	㎡	1,000	1,000,000
11. 内装	床	フローリング	1,000	㎡	1,000	1,000,000
12. 内装	壁	石膏ボード	1,000	㎡	1,000	1,000,000
13. 内装	天井	石膏ボード	1,000	㎡	1,000	1,000,000
14. 内装	照明	LED	1,000	個	1,000	1,000,000
15. 内装	空調	エアコン	1,000	台	1,000	1,000,000
16. 内装	換気	換気扇	1,000	台	1,000	1,000,000
17. 内装	防音	防音材	1,000	㎡	1,000	1,000,000
18. 内装	防虫	防虫剤	1,000	㎡	1,000	1,000,000
19. 内装	防湿	防湿材	1,000	㎡	1,000	1,000,000
20. 内装	防臭	防臭材	1,000	㎡	1,000	1,000,000

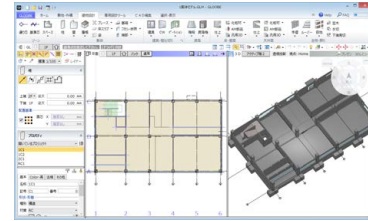
項目を集計して合計金額を算出し、内訳明細書を自動作成します。

1-2 コストシミュレーションの流れ

次のフロー図は、コストシミュレーションを行うときの基本的な流れを示したものです。

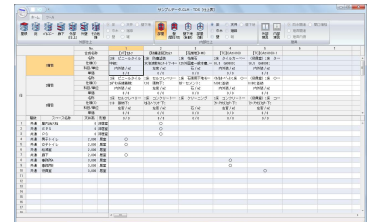
① 躯体モデルの作成

柱、梁、スラブ、基礎などの躯体モデルを入力します。
 ※ 柱、梁、スラブ、基礎は全種別、積算対象外です。
 ※ 壁は種別が RC のみ、積算対象外です。



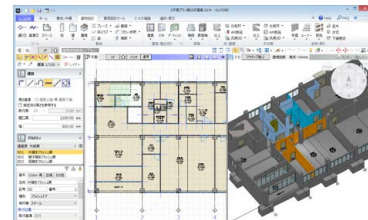
② スペース・間仕切壁・建具の情報作成

仕様書を開いて、合成材料の情報を登録します。
 ・仕様書を開く ⇒P.4
 ・スペース（部屋）の情報作成 ⇒P.7
 ・内部間仕切壁・外部壁の情報作成 ⇒P.12
 ・建具の情報作成 ⇒P.15



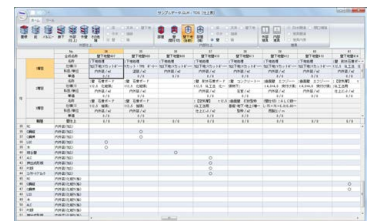
③ 平面プラン・間仕切壁・建具の入力

仕様書の情報がオブジェクトのテンプレートとして表示されるので、それを使用して平面プラン・間仕切壁・建具を入力します。
 ・スペースの入力 ⇒P.7
 ・壁の入力 ⇒P.12
 ・建具の入力 ⇒P.15



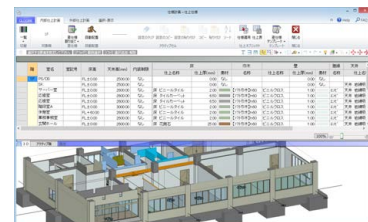
④ 仕上の情報作成

仕様書を開いて、仕上の合成材料の情報を登録します。
 ・スペース（部屋）の情報作成 ⇒P.7
 ・壁下地の情報作成 ⇒P.14
 ・外部仕上の情報作成 ⇒P.17



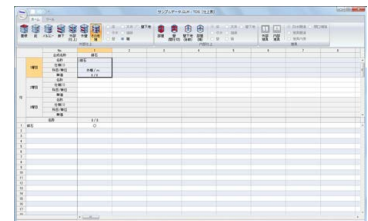
⑤ 仕上部材の配置

内部仕上は、スペース（部屋）から仕上の情報を取得して、下地とともに自動割り当てされます。外部仕上は、[仕上仕様] で仕様書の情報を割り当てます。これらの情報をもとに仕上を自動配置します。
 ・内部仕上の入力、仕上仕様への連動 ⇒P.8、14
 ・外部仕上の入力 ⇒P.17



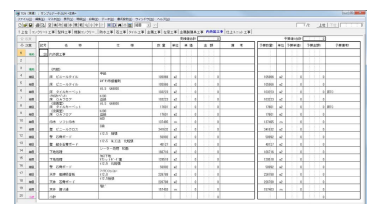
⑥ 雑物の情報作成

GLOBE で部材配置した雑物に対して仕様書で情報を設定します。
 ・雑物の情報作成 ⇒P.19



⑦ 内訳明細書の作成

項目を集計して合計金額を算出し、内訳明細書を自動作成します。
 ・内訳明細書の作成 ⇒P.20



2 仕様書の作成

仕様書を開いて編集しましょう。

仕様書を開くには、新規にデータを作成する方法と、既存のデータから仕様書を開く方法があります。

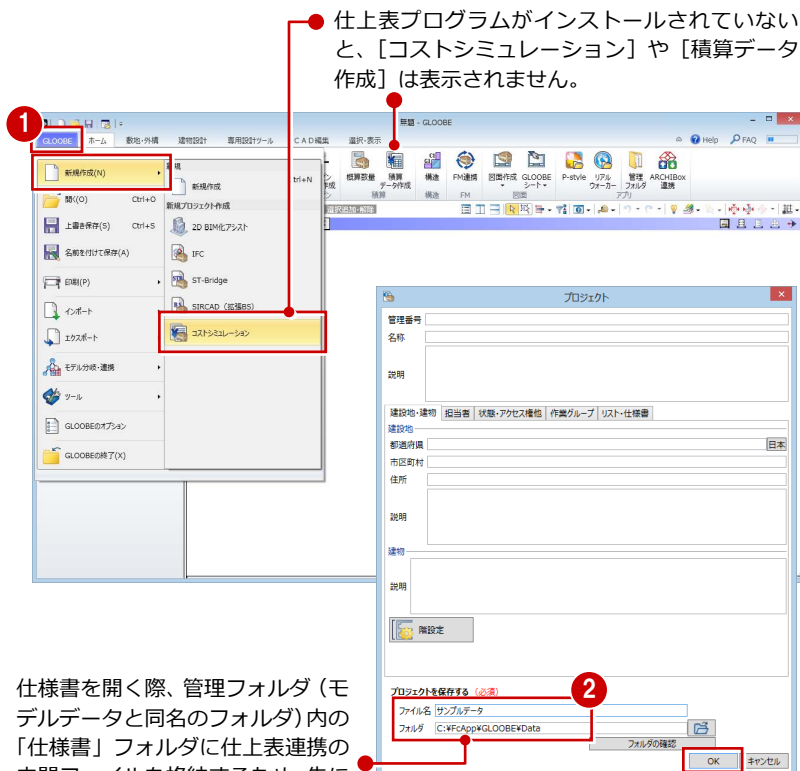
【注意】仕様書を開くには、TOMO データサービス株式会社の仕上表プログラムがインストールされている必要があります。

2-1 仕様書を開く

新規にデータを作成する場合

- 1 GLOBE ボタンをクリックして、[新規作成] メニューから [コストシミュレーション] を選びます。
[プロジェクト] ダイアログが開きます。
- 2 保存先のフォルダとファイル名を入力して、[OK] をクリックします。
TDS 仕上表（仕様書）が起動します。

起動メニューの [コストシミュレーション] をクリックしても同様です。



仕様書を開く際、管理フォルダ（モデルデータと同名のフォルダ）内の「仕様書」フォルダに仕上表連携の中間ファイルを格納するため、先にデータの保存が必要になります。



仕様書を開くと

[プロジェクト] ダイアログの [リスト・仕様書] タブで、[仕様書を利用する] と [コストシミュレーション] が ON になります。



また、クイックアクセスツールバーに [仕様書を開く] が追加されます。



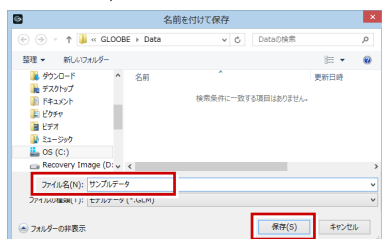
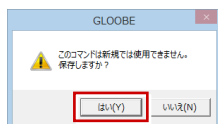
No.	1	2	3	4	5	6	7
1	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
2	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
3	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
4	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
5	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
6	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
7	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
8	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
9	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
10	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
11	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
12	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
13	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
14	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
15	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
16	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
17	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
18	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
19	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
20	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎

一度、仕様書（仕上表）を開いた後は、[プロジェクト] ダイアログの [リスト・仕様書] タブの [仕様書起動] や、クイックアクセスツールバーの [仕様書を開く] からでも起動できます。

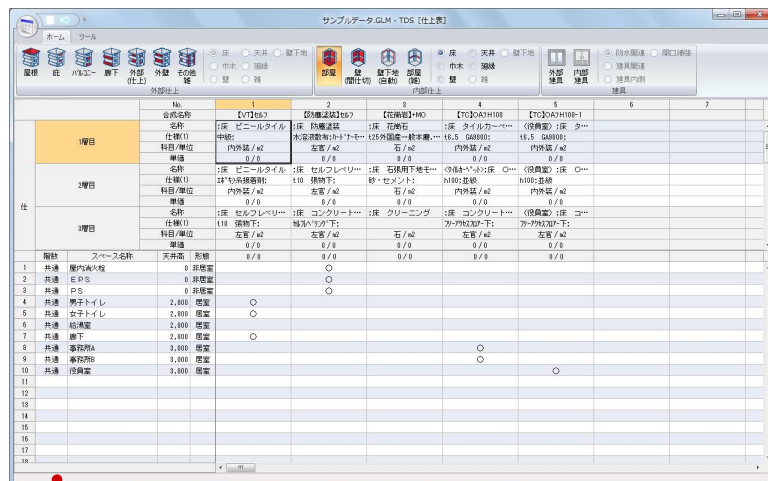
既存のデータから仕様書を開く

- 1 [積算データ作成] をクリックします。
[積算] タブが開きます。
- 2 [仕様書を開く] をクリックします。
TDS 仕上表 (仕様書) が起動します。

新規データで [仕様書を開く] をクリックした場合は保存の確認画面が表示されます。
[はい] をクリックしてデータを保存後に、再度 [仕様書を開く] をクリックしてください。



仕上表プログラムがインストールされていないと、[積算データ作成] は表示されません。



一度、仕様書 (仕上表) を開いた後は、[プロジェクト] ダイアログの [リスト・仕様書] タブの [仕様書起動] や、クイックアクセスツールバーの [仕様書を開く] から起動できます。

仕様書を保存する

- 1 仕様書を編集したら、仕上表ボタンをクリックして、[上書き保存] を選びます。

クイックアクセスツールバーの [上書き保存] でも保存できます。



2-2 仕様書の基本操作

仕様書の画面まわり

仕様書の分類を切り替えます。

各層に積算項目と単価を設定します(10層まで)。最終的に、設定した単価が内訳明細書に反映されます。ここで単価を調整することで、見積金額のシミュレーションが可能です。

GLOOBE で表示するテンプレートと合成材料情報を関連付けます。

材料マスタ

仕上構成をダブルクリック、または F2 キーを押すと表示されます。詳しくは、TOMO データサービス株式会社のマニュアルを参照してください。

合成材料情報

右クリックして「合成材料情報の編集」を選択、または F8 キーを押すと表示されます。GLOOBE と連携するための設定です。

右クリックして「合成材料の新規作成」を選択、または F7 キーを押すと表示されます。

合成材料表示の設定

合成名称の行で右クリックして「合成材料表示の設定」を選
ぶと、合成情報や仕上構成の表示項目を変更できます。

右クリック

合成情報

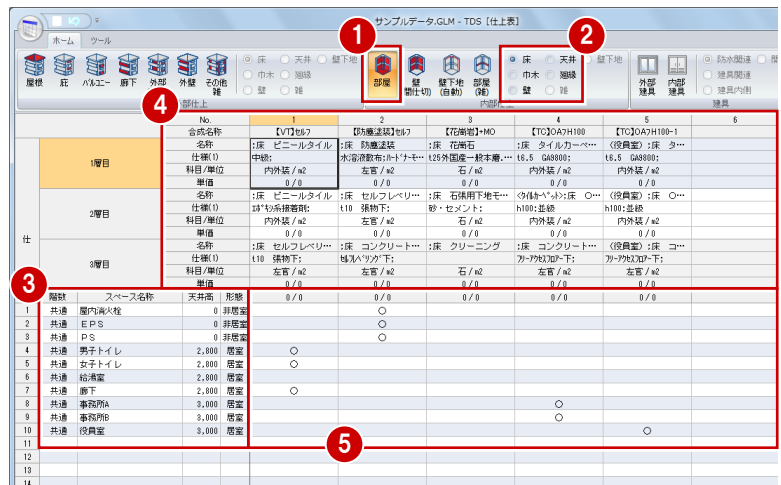
仕上構成

2-3 スペース（部屋）の情報作成

スペースと仕上情報を設定する

- 1 [部屋] をクリックします。
- 2 分類(床/巾木/壁/天井/廻縁) を切り替えます。
- 3 スペース（部屋）の情報を作成します。
- 4 合成材料情報を作成します。
- 5 スペース（部屋）と仕上情報を関連付けます。

各スペース（部屋）で使用する合成材料情報の列をダブルクリックすると「○」が付きまします。



スペースと仕上情報の設定については、TOMO データサービス株式会社のマニュアルを参照してください。

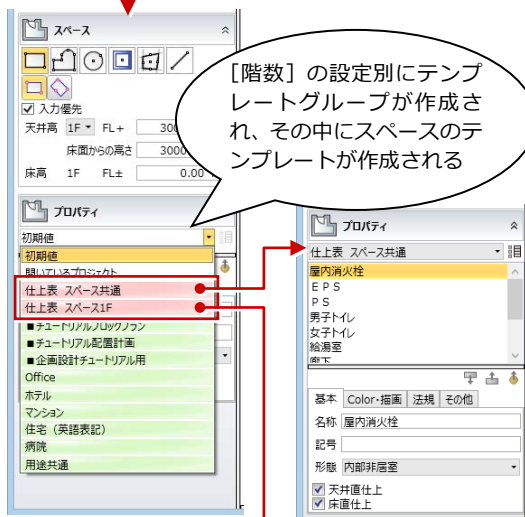
GLOOBE のスペース入力では

仕様書で設定したスペース（部屋）の情報は、GLOOBE の[スペース] で次のように連動します。

※ スペース（部屋）自体は積算対象ではありません。部屋の仕上情報を自動設定するために利用します。

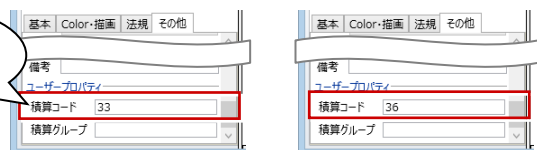
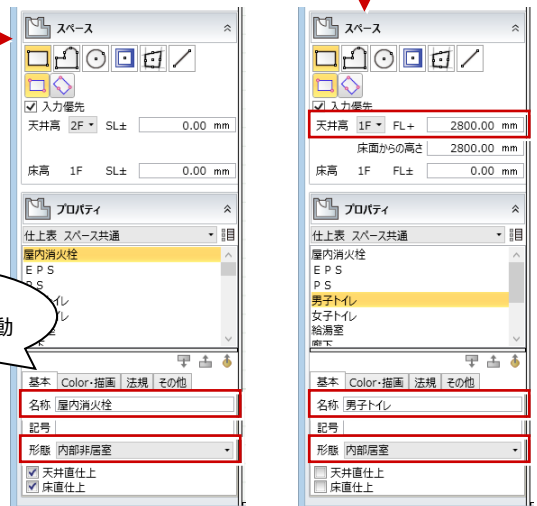
階数	スペース名称	天井高	形態	0/0	0/0
1	共通 屋内消火栓	0	非居室		○
2	共通 EPS	0	非居室		○
3	共通 PS	0	非居室		○
4	共通 男子トイレ	2,800	居室	○	
5	共通 女子トイレ	2,800	居室	○	
6	共通 給湯室	2,800	居室		○
7	共通 廊下	2,800	居室	○	
8	共通 事務所A	3,000	居室		
9	共通 事務所B	3,000	居室		
10	共通 役員室	3,000	居室		
11	IF エントランスホール	3,000	非居室		○

階数	スペース名称	天井高	形態	0/0	0/0
1	共通 屋内消火栓	0	非居室		○
2	共通 EPS	0	非居室		○
3	共通 PS	0	非居室		○
4	共通 男子トイレ	2,800	居室	○	
5	共通 女子トイレ	2,800	居室	○	
6	共通 給湯室	2,800	居室		○



スペース名称、居室/非居室が連動

積算コードが割り当てられる



GL00BE の仕上・巾木・廻縁入力では

■ 床

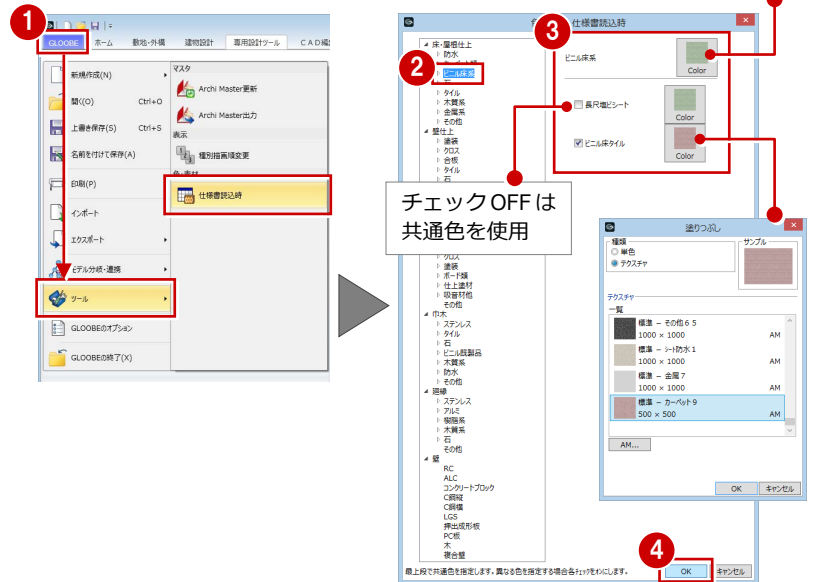
Figure 1: Example of a 5-story building structure. The figure shows a cross-section of a 5-story building with a basement. The structure includes a concrete frame with columns and beams. The floor slabs are labeled '1層目' through '5層目'. The basement is labeled '地下1階'. The building is surrounded by a landscape with trees and a road. A callout box points to the '1層目' floor slab, indicating that the calculation code is assigned to it.

Figure 1: Screenshot of the 'テンプレート' (Template) dialog box. The '仕上' (Finish) tab is selected, showing a table of materials and their properties. A callout bubble points to the '仕上' tab and the table, stating: 'スペースと関連付けられている合成材料が、テンプレートとして表示される' (Composite materials associated with the space are displayed as templates). The table lists materials like '内装材' (Interior material) and '外装材' (Exterior material) with their respective dimensions and properties. The right side of the dialog shows the '仕上' (Finish) settings, including '仕上表' (Finish table) and '仕上材' (Finish material).

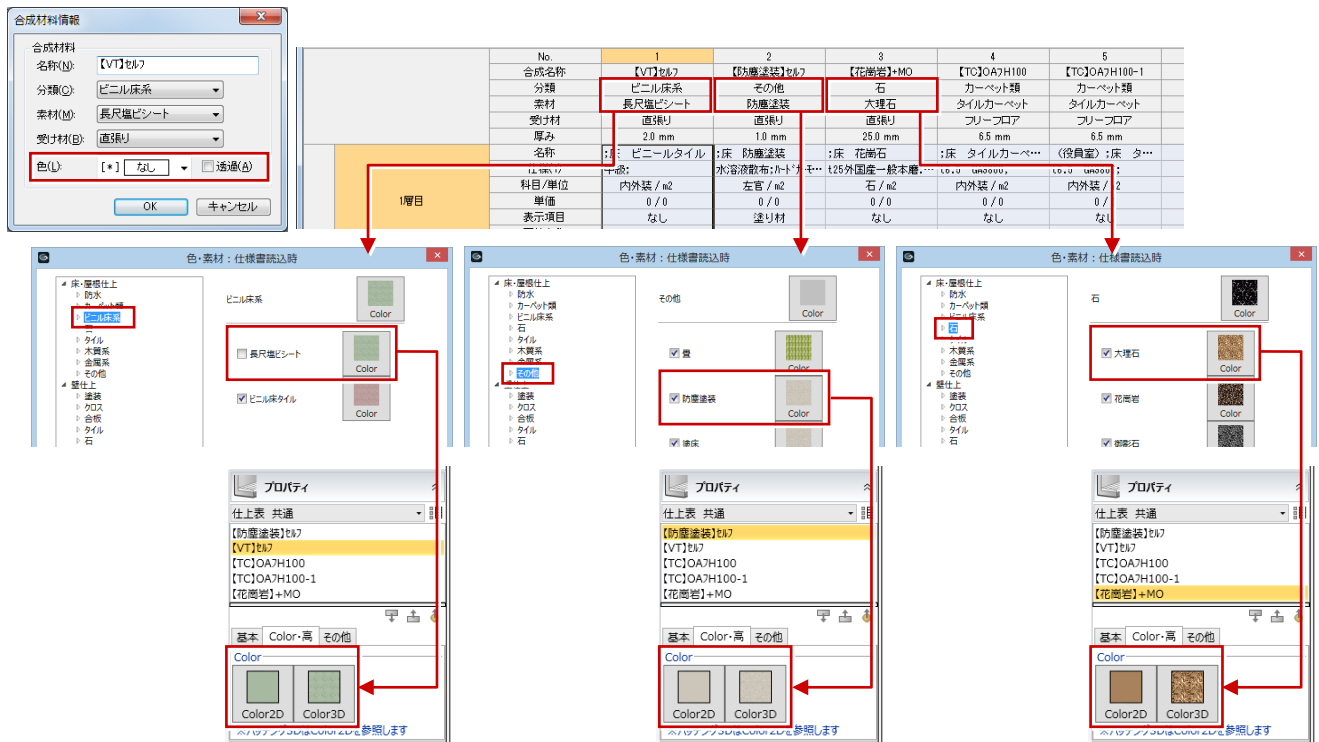
GLOOBE の色・素材割り当て

仕様書の部材情報に対して、割り当てる色（単色・AM 素材）は、次のように設定します。

- 1 GLOOBE ボタンをクリックして、[ツール]メニューから「仕様書読込時」を選びます。
- 2 分類を選びます。
- 3 素材ごとに塗りつぶし色を設定します。
最上段で分類内の共通色を設定し、チェック OFF の場合は共通色を使用します。
共通色とは異なる塗りつぶし色を設定する場合は、チェックを ON にして単色または AM 素材から選択します。
- 4 同様に他の分類も塗りつぶし色を設定して、[OK] をクリックします。



■ 合成材料情報の「色」が「なし」の場合



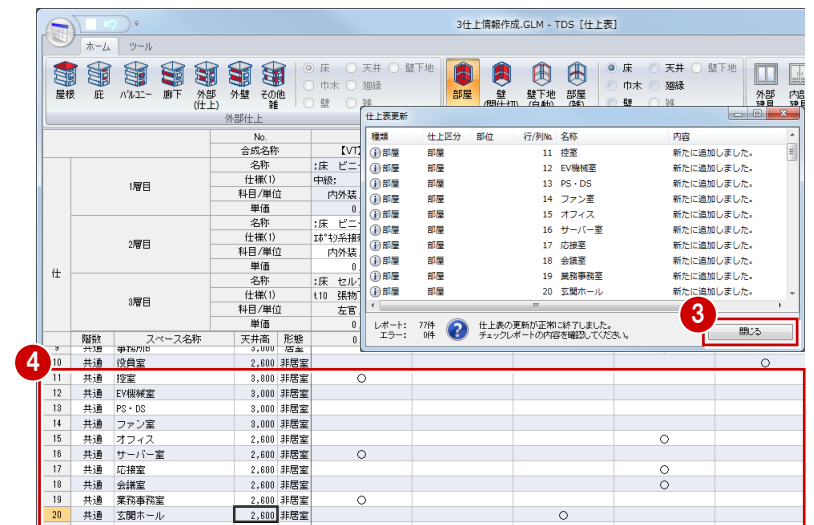
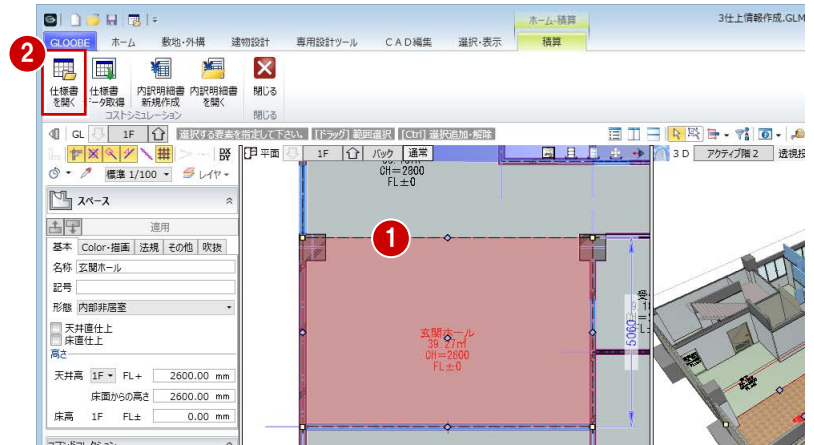
■ 合成材料情報の「色」が設定されている場合



仕様書 ⇔ GLOOBE の相互連動

GLOOBE で入力したスペースや仕上などのプロパティを仕様書に連動させることができます。

- 1 GLOOBE でスペースや仕上などを入力します。
- 2 [積算] タブの [仕様書を開く] をクリックします。
- 3 追加登録のリストが表示されるので、[閉じる] をクリックします。
- 4 追加登録された項目を確認します。
- 5 階数など、必要があれば情報を編集します。



階数	スペース名称	天井高	形態	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0
30	共通 身障者便所	2,400	非居室	○				
31	共通 湯沸室	2,400	非居室	○				
32	PH1 倉庫	3,000	非居室	○				
33	4F 階段室A	3,000	非居室	○				
34	4F 倉庫	3,000	非居室	○				
35	4F 廊下	2,800	非居室	○				
36	4F 休憩室	2,800	非居室	○				
37	3F 階段室A	3,000	非居室	○				
38	3F 倉庫	3,000	非居室	○				
39	3F 廊下	2,800	非居室	○				
40	3F 休憩室	2,800	非居室	○				
41	2F 階段室A	3,000	非居室	○				
42	2F 倉庫	3,000	非居室	○				
43	2F 廊下	2,800	非居室	○				
44	2F 休憩室	2,800	非居室	○				
45	1F 階段室A	3,000	非居室	○				

スペース（部屋）は、「階数+スペース名」で重複チェックをしています。
仕様書を編集した場合、仕様書を上書き保存するとスペースのプロパティも更新されます。

階数	スペース	天井高	形態	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0
30	共通 身障者便所	2,400	非居室	○				
31	共通 湯沸室	2,400	非居室	○				
33	共通 階段室A	3,000	非居室	○				
34	共通 廊下	2,800	非居室	○				
35	共通 休憩室	2,800	非居室	○				

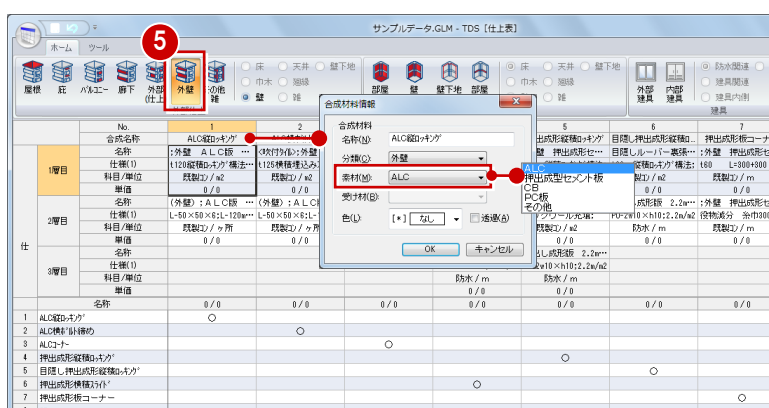
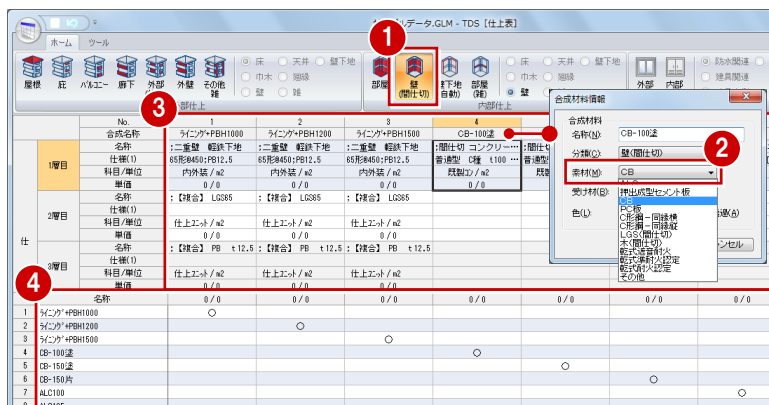
階数で Delete キーを押すと「共通」（全階共通）になる

Ctrl + Delete キーで行削除

2-4 内部間仕切壁・外部壁の情報作成

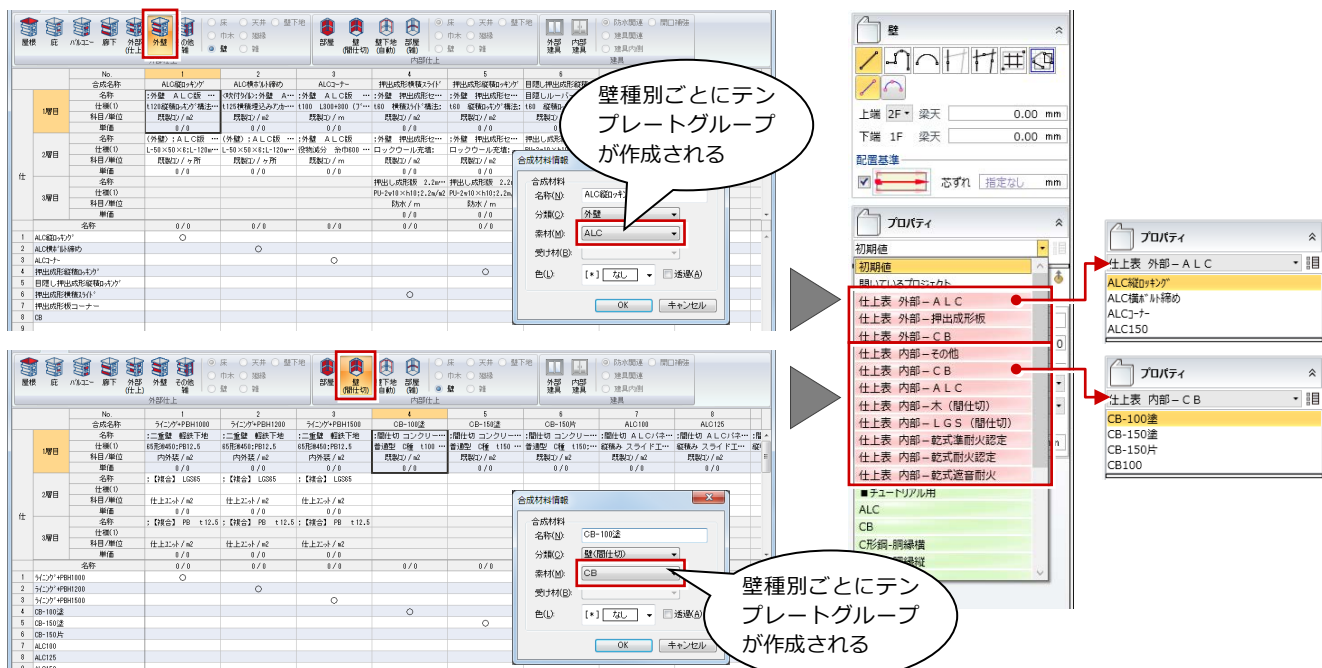
壁の情報を設定する

- 1 [壁（間仕切）] をクリックします。
 - 2 [合成材料情報] ダイアログの [素材] で壁種別を選択します。
- 複合壁は、[素材] で「その他」を選びます。
- 3 壁の合成材料を作成します。
 - 4 名称と合成材料を関連付けます。
 - 5 [外壁] をクリックして、同様に設定します。



GLOOBE の壁入力では

仕様書で設定した壁の情報は、GLOOBE の [壁] で次のように連動します。



■ 通常壁の場合

壁(簡仕切) (壁) - 材料マスタ

No.	名称	仕上	厚み	ピッチ	表示項目	壁種別	下地名称
1	コンクリートブロック	普通型	100.0	0.0	なし	コンクリートブロック	間仕切コン
2	コンクリートブロック	普通型	150.0	0.0	なし	コンクリートブロック	間仕切コン
3	コンクリートブロック	普通型	100.0	0.0	なし	コンクリートブロック	間仕切コン

壁種別、厚さは材料マスタから連動

積算コードが割り当てられる

■ 複合壁の場合

壁(簡仕切) (壁) - 材料マスタ

No.	名称	仕上	厚み	ピッチ	表示項目	壁種別	下地名称
1	コンクリートブロック	普通型	100.0	0.0	なし	コンクリートブロック	間仕切コン
2	コンクリートブロック	普通型	150.0	0.0	なし	コンクリートブロック	間仕切コン
3	コンクリートブロック	普通型	100.0	0.0	なし	コンクリートブロック	間仕切コン

⇒ Colorの連動については、P.10 参照

補足 RC 壁の積算コード

コストシミュレーションでは、RC 壁は対象外です。GLOOBE で RC 壁を入力していた場合、仕様書を初めて起動したとき、または既に開いたことがある場合は「仕様書データ取得」をクリックしたときに、RC 壁の積算コードに「-1」が割り当てられます。

「-1」は、積算対象外を意味します。

例えば、AM 部品など積算対象外にしたいオブジェクトがあった場合、積算コードを「-1」に設定すると積算されません。

仕様書データ取得

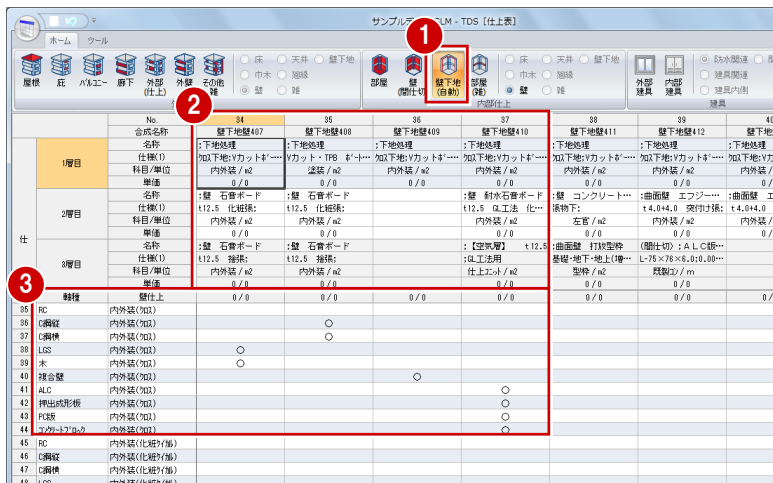
積算コード: -1

積算コードに「-1」が割り当てられる

2-5 壁下地の情報作成

仕上自動配置用の下地情報を設定

- ① [壁下地 (自動)] をクリックします。
- ② 壁下地の合成材料を作成します。
- ③ 軸種と壁仕上ごとに、合成材料を関連付けます。



GLOOBE の仕上仕様では

仕様書で設定した壁下地の情報は、GLOOBE の [仕上仕様] で次のように連動します。

軸種「LGS」、壁仕上「内外装 (クロス)」のときに、この壁下地を設定

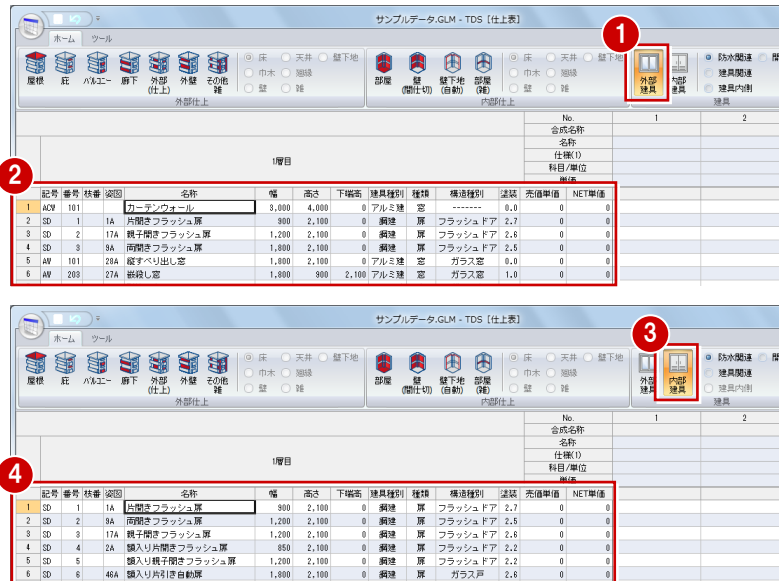
軸種「ALC」、壁仕上「内外装 (クロス)」のときに、この壁下地を設定

スペースの壁仕上に設定されている材料マスタが連動

2-6 建具の情報作成

建具の情報を設定する

- ① [外部建具] をクリックします。
- ② 記号、番号、枝番、名称、サイズなどを入力します。
- ③④ [内部建具] をクリックして、同様に設定します。



GLOOBE の建具入力では

仕様書で設定した建具の情報は、GLOOBE の [建具] で次のように連動します。

2 仕様書の作成

■ 姿図番号について

GLOOBE のテンプレートフォルダ内にインストールされている「積算連携建具姿図一覧.pdf」を参照してください。
この資料に記載されている姿図記号の絵柄で連動します。



■ 仕様書 ⇄ GLOOBE の相互連動について

相互連動の識別は、「記号・番号・枝番」で管理しています（名称ではありません）。

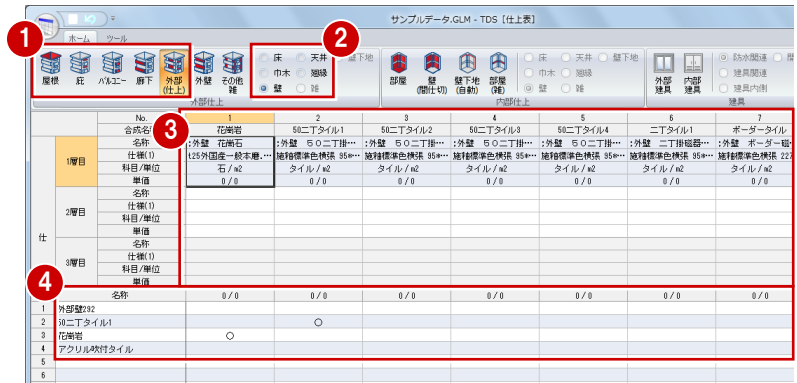
仕様書のテンプレートで建具を入力後にサイズを変更した場合、仕様書を開くと GLOOBE の情報が仕様書に取り込まれて仕様書の内容も変更されます。



2-7 外部仕上の情報作成

外部仕上の情報を設定する

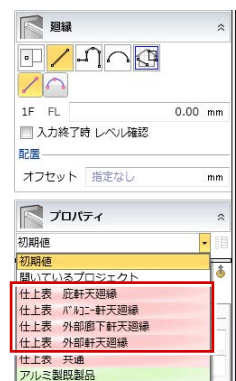
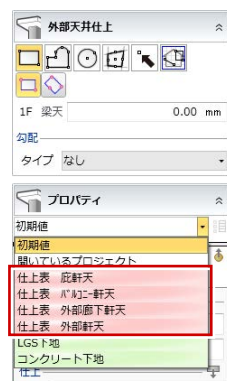
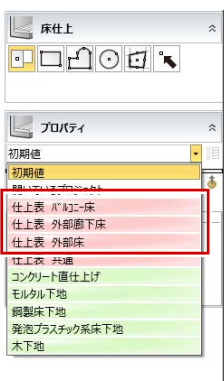
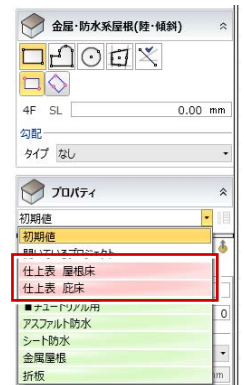
- 1 外部仕上の種類を選びます。
- 2 分類（床/巾木/壁/天井/廻縁）を切り替えます。
- 3 外部仕上の合成材料を作成します。
- 4 名称と合成材料を関連付けます。



GLOOBE の仕上・巾木・廻縁入力

仕様書で設定した外部仕上の情報は、GLOOBE の [金属・防水系屋根] [床仕上] [巾木] [外壁仕上] [外部天井仕上] [廻縁] で次のように連動します。 ⇒ テンプレートへの連動内容については、P.8 を参照

種類	分類	⇒	GLOOBE のオブジェクト	テンプレートグループ名
屋根	床	⇒	金属・防水系屋根	仕上表 屋根床
	巾木	⇒	巾木	仕上表 屋根立上り
	壁	⇒	外壁仕上	仕上表 屋根立上り壁
庇	床	⇒	金属・防水系屋根	仕上表 庇床
	巾木	⇒	巾木	仕上表 庇立上り
	天井	⇒	外部天井仕上	仕上表 庇軒天
	廻縁	⇒	廻縁	仕上表 庇軒天廻縁
バルコニー	床	⇒	床仕上	仕上表 バルコニー床
	巾木	⇒	巾木	仕上表 バルコニー立上り
	壁	⇒	外壁仕上	仕上表 バルコニー立上り壁
	天井	⇒	外部天井仕上	仕上表 バルコニー軒天
	廻縁	⇒	廻縁	仕上表 バルコニー軒天廻縁
廊下	床	⇒	床仕上	仕上表 外部廊下床
	巾木	⇒	巾木	仕上表 外廊下立上り
	壁	⇒	外壁仕上	仕上表 外廊下立上り壁
	天井	⇒	外部天井仕上	仕上表 外部廊下軒天
	廻縁	⇒	廻縁	仕上表 外部廊下軒天廻縁
外部（仕上）	床	⇒	床仕上	仕上表 外部床
	巾木	⇒	巾木	仕上表 外壁巾木
	壁	⇒	外壁仕上	仕上表 外壁仕上
	天井	⇒	外部天井仕上	仕上表 外部軒天
	廻縁	⇒	廻縁	仕上表 外部軒天廻縁

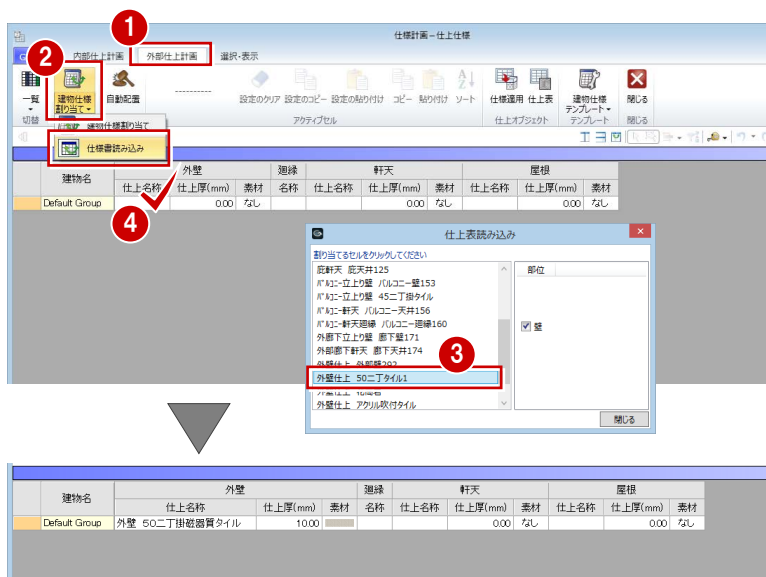


2 仕様書の作成

GLOOBE の仕上仕様では

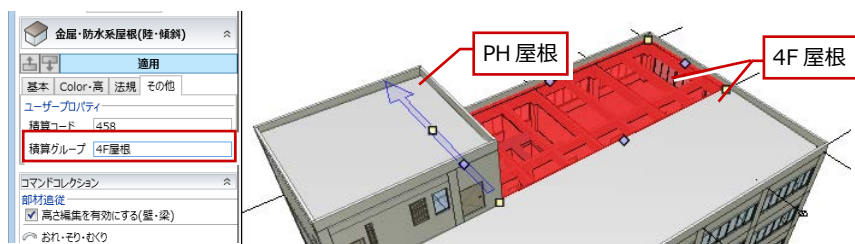
仕様書で設定した外部仕上の情報は、GLOOBE の「仕上仕様」の「外部仕上計画」タブで、外壁仕上情報として割り当てることができます。この設定をもとに、外壁仕上を自動配置します。

- 1 「仕上仕様」の「外部仕上計画」タブを開きます。
- 2 「建物仕様割り当て」メニューから「仕様書読み込み」を選びます。
- 3 「仕上表読み込み」ダイアログから仕上を選びます。
- 4 割り当てセル（ここでは「外壁」）をクリックします。
仕様書で設定した仕上が割り当てられます。



積算グループの設定

金属・防水系屋根、外壁仕上、外部天井仕上には、プロパティに「積算グループ」という項目があります。グループ単位で任意の値を設定しておく、内訳明細書で積算グループ別に集計されます。



サンプルデータ (積算グループ) .GLM - 内訳明細書

科目	係数	名称	仕様(1)	数量	単位
1	1.00	4F屋根		281.78	m2
2	1.00	外壁		87.77	m2
3	1.00	防水		2.50	m2
4	1.00	4F屋根		188.82	m2
5	1.00	外壁	50ニアタイル	6.92	m2
6	1.00	外壁	50ニアタイル	2.78	m2
7	1.00	外壁	50ニアタイル	2.88	m2
8	1.00	外壁	50ニアタイル	87.34	m2

記号	名称	仕様	数量	単位	単価	金額	備考
10	防水工事						
1	補助						
2	補助						
3	補助						
4	細目	4F屋根	47061	m2	0	0	
5	細目	外壁	8777	m2	0	0	
6	細目	シート防水	250	m2	0	0	
7	小計					0	

【積算グループを設定した場合】

TDS [見出し] : C:\TDS\ESTMHEX\DATA\サンプルデータ.mtz

記号	名称	仕様	数量	単位	単価	金額	備考
10	防水工事						
1	補助						
2	補助						
3	補助						
4	細目	アスファルト防水保護工法 (外...	58888	m2	0	0	
5	細目	シート防水	250	m2	0	0	
6	小計					0	

【積算グループを設定していない場合】

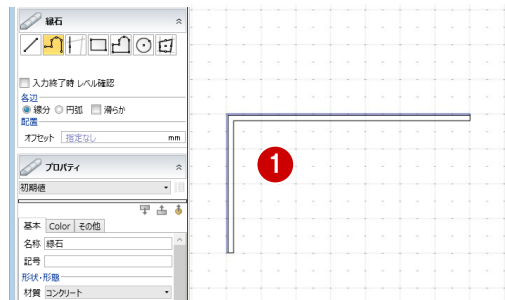
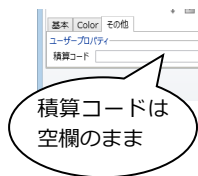
2-8 雑物の情報作成

雑物は、GLOOBE で部材配置したものに対して仕様書で情報を設定します。GLOOBE ⇒ 仕様書の片方向連動のみになります。

雑物の情報を設定する

ここでは、縁石を例に解説します。

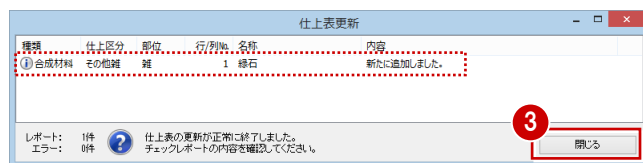
① GLOOBE で縁石を入力します。



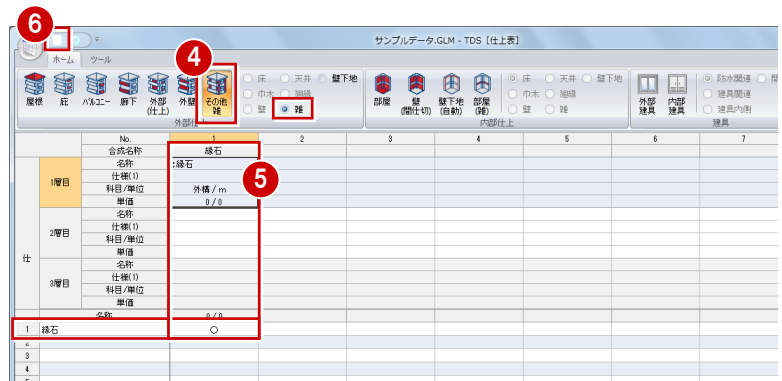
② [積算] タブの [仕様書を開く] をクリックします。



③ 縁石が追加登録されたという確認画面が表示されるので、[閉じる] をクリックします。



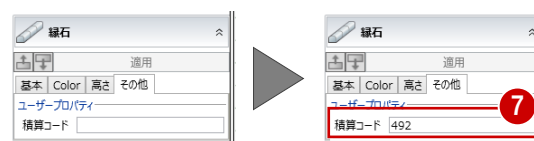
④ [その他雑] の [雑] をクリックします。
縁石が登録されています。



⑤ 科目や単価などの情報を編集します。

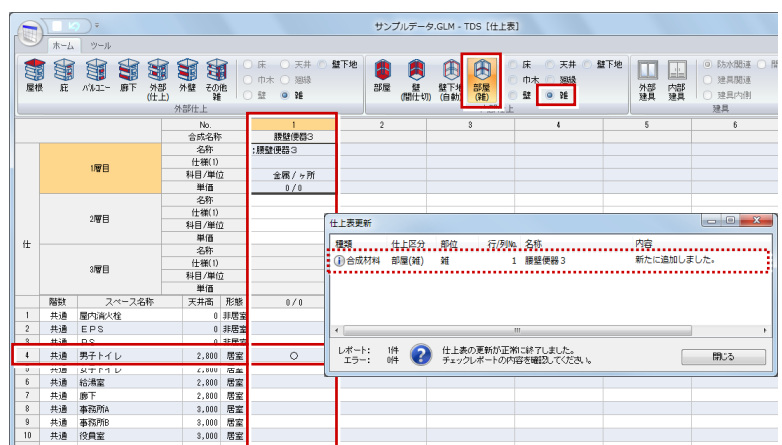
⑥ [上書き保存] をクリックします。

⑦ 仕様書の保存と同時に、縁石のプロパティで積算コードが設定されます。



積算コードが入っていると、内訳明細書が作成できる状態で。

※ スペース内部に入力した部品などは、[部屋 (雑)] の [雑] に登録されます。



3 内訳明細書の作成

内訳明細書を作成しましょう。

仕様書の積算情報（仕上構成や単価など）と GLOOBE のオブジェクトの数量とが積算コードでひも付けされて集計されます。

3-1 内訳明細書の新規作成

内訳明細書を作成する

- 1 [積算] タブの [内訳明細書新規作成] をクリックします。
- 2 出力階を設定して、[実行] をクリックします。
- 3 [外部仕上] [内部仕上] [建具] の各タブをクリックして、集計内容を確認します。
- 4 内訳明細を、工事別または部位別のどちらで出力するかを設定します。
- 5 [変換実行] をクリックします。
TDS 見積が起動します。

[環境設定] で集計条件を設定できます。

内訳明細書の操作は、TOMO データサービス株式会社のマニュアルを参照してください。



項目	係数	名称	仕様()	数量	単位	売価単価	売価金額	売価備考
1	防水	1.00	アスファルト防水保護工法 (外断)	201.78	m2	0	0	
2	防水	1.00	アスファルト防水保護工法 (外断)	87.77	m2	0	0	
3	防水	1.00	シート防水	2.50	m2	0	0	
4	防水	1.00	アスファルト防水保護工法 (外断)	188.82	m2	0	0	
5	タイル	1.00	外壁 50ニ丁掛磁器質タイル	6,82	m2	0	0	地留連色焼成 95445 改良圧巻係 正価
6	タイル	1.00	外壁 50ニ丁掛磁器質タイル	2,70	m2	0	0	地留連色焼成 95445 改良圧巻係 正価
7	タイル	1.00	外壁 50ニ丁掛磁器質タイル	2,68	m2	0	0	地留連色焼成 95445 改良圧巻係 正価
8	タイル	1.00	外壁 50ニ丁掛磁器質タイル	37,34	m2	0	0	地留連色焼成 95445 改良圧巻係 正価
9	タイル	1.00	外壁 50ニ丁掛磁器質タイル	14,05	m2	0	0	地留連色焼成 95445 改良圧巻係 正価
10	タイル	1.00	外壁 50ニ丁掛磁器質タイル	3,02	m2	0	0	地留連色焼成 95445 改良圧巻係 正価
11	タイル	1.00	外壁 50ニ丁掛磁器質タイル	2,70	m2	0	0	地留連色焼成 95445 改良圧巻係 正価
12	タイル	1.00	外壁 50ニ丁掛磁器質タイル	9,48	m2	0	0	地留連色焼成 95445 改良圧巻係 正価
13	タイル	1.00	外壁 50ニ丁掛磁器質タイル	0,40	m2	0	0	地留連色焼成 95445 改良圧巻係 正価
14	タイル	1.00	外壁 50ニ丁掛磁器質タイル	2,68	m2	0	0	地留連色焼成 95445 改良圧巻係 正価
15	タイル	1.00	外壁 50ニ丁掛磁器質タイル	14,05	m2	0	0	地留連色焼成 95445 改良圧巻係 正価
16	タイル	1.00	外壁 50ニ丁掛磁器質タイル	7,42	m2	0	0	地留連色焼成 95445 改良圧巻係 正価

項目	名称	仕様	数量	単位	金額	備考	子算数量	子算単位	子算金額	子算備考
1	防水	中級								
2	タイル	中級								
3	タイル	中級								
4	タイル	中級								
5	タイル	中級								
6	タイル	中級								
7	タイル	中級								
8	タイル	中級								
9	タイル	中級								
10	タイル	中級								
11	タイル	中級								
12	タイル	中級								
13	タイル	中級								
14	タイル	中級								
15	タイル	中級								
16	タイル	中級								
17	タイル	中級								
18	タイル	中級								
19	タイル	中級								
20	タイル	中級								
21	タイル	中級								
22	タイル	中級								
23	タイル	中級								
24	タイル	中級								
25	タイル	中級								
26	タイル	中級								
27	タイル	中級								
28	タイル	中級								
29	タイル	中級								
30	タイル	中級								

項目	名称	仕様	数量	単位	金額	備考	子算数量	子算単位	子算金額	子算備考
1	防水	中級								
2	タイル	中級								
3	タイル	中級								
4	タイル	中級								
5	タイル	中級								
6	タイル	中級								
7	タイル	中級								
8	タイル	中級								
9	タイル	中級								
10	タイル	中級								
11	タイル	中級								
12	タイル	中級								
13	タイル	中級								
14	タイル	中級								
15	タイル	中級								
16	タイル	中級								
17	タイル	中級								
18	タイル	中級								
19	タイル	中級								
20	タイル	中級								
21	タイル	中級								
22	タイル	中級								
23	タイル	中級								
24	タイル	中級								
25	タイル	中級								
26	タイル	中級								
27	タイル	中級								
28	タイル	中級								
29	タイル	中級								
30	タイル	中級								

【部位別明細】

項目	名称	仕様	数量	単位	金額	備考	子算数量	子算単位	子算金額	子算備考
1	防水	中級								
2	タイル	中級								
3	タイル	中級								
4	タイル	中級								
5	タイル	中級								
6	タイル	中級								
7	タイル	中級								
8	タイル	中級								
9	タイル	中級								
10	タイル	中級								
11	タイル	中級								
12	タイル	中級								
13	タイル	中級								
14	タイル	中級								
15	タイル	中級								
16	タイル	中級								
17	タイル	中級								
18	タイル	中級								
19	タイル	中級								
20	タイル	中級								
21	タイル	中級								
22	タイル	中級								
23	タイル	中級								
24	タイル	中級								
25	タイル	中級								
26	タイル	中級								
27	タイル	中級								
28	タイル	中級								
29	タイル	中級								
30	タイル	中級								

【工事別明細】

3-2 数量データの連携について

mと㎡など、1部材で複数の集計値を使用できます。

ただし、平面積（㎡）と表面積（㎡）のように同じ単位の数量は、オブジェクトごとにどの数量を使用するか決められています（下表）。

道路・舗装・緑地の場合、平面積（㎡）は使用できない

各オブジェクトの参考集計値の計算根拠については、資料「参考集計値計算根拠」を参照してください。

GLOBE のオブジェクト	使用できる数量データ					
	単位	集計値	単位	集計値	単位	集計値
道路・舗装・緑地	m	周長	m2	表面積		
縁石	m	延長				
塀フェンス	m	延長				
水路側溝	m	延長				
水路側溝柵	ヶ所					
擁壁	m	延長				
駐車ライン	ヶ所		m	駐車台数×（車全長+100）×2 - （車全長+100）		
樹木	本					
AM 部品	ヶ所					
壁	m2	表面積（内）	m	水平長	高m	高さ延長
壁（パラペット）	m2	表面積（内）	m	水平長	高m	高さ延長
金属・防水系屋根（陸・傾斜／錐形／ドーム／曲面）	m2	表面積	m	周長		
トップライト	ヶ所		m2	平面積	m	周長
軒	m2	全面積	m	延長		
建具	ヶ所					
AM 建具	ヶ所					
サスペンドガラス	ヶ所		m2	表面積	m	水平長
カーテンウォール	ヶ所		m2	表面積	m	周長
パーティション（ハイ／ロー／トイレ／移動）	ヶ所		m2	表面積	m	水平長
床仕上	m2	表面積	m	周長		
内壁仕上／外壁仕上	m2	表面積	m	周長	高m	高さ延長
化粧材	m2	全面積	m	延長		
巾木	m	延長				
内部天井仕上／外部天井仕上	m2	表面積	m	周長		
廻縁	m	延長				
通常手摺	m	延長	m2	表面積		
腰壁手摺	m	延長	m2	表面積		
壁付手摺	m	延長				
水平ルーバー	m2	表面積				
垂直ルーバー	m2	表面積	m	水平長		
笠木	m2	全面積	m	延長		
水切	m	延長				
下端見切	m	延長				